

「業務効率化支援システム」の試作品 作成計画

概要

既存の「作業日報システム」の課題解決を図るべく、新たに業務効率化を支援する中小企業向けシステム開発

背景・目的

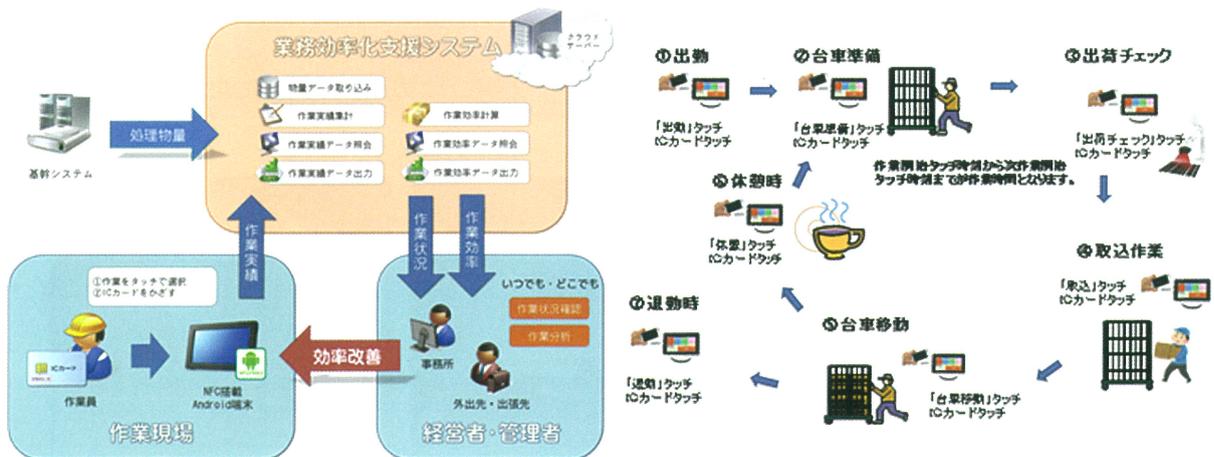
近年では、中小企業でも受発注処理や入出荷・在庫管理、債権・債務管理等に、高度なIT技術を活用して経営の合理化・効率化を進めている。弊社では「作業日報システム」を開発し、各企業の業務内容に合わせた業務効率化を提案してきたが、同システムではデータを手入力しなければならず、翌日でなければ事業所全体の業務進捗等を確認できないという課題があった。

そこで、弊社の「作業日報システム」を更に前進させ、業務効率化を支援する中小企業向けシステム開発を行うこととした。

○システム開発における課題

既存システムでは、以下が課題となっていた。

- ◆物量に応じた人員配置等の見直しをリアルタイムにできない。
- ◆エクセルで効率表を作成・印刷しているため、限られた場所でのみ確認できない。
- ◆作業実績の入力・作業効率表等の作成に、約3時間を要する(約100人分)。
- ◆記入用紙の印刷・購入費用が発生する。
- ◆作業コードが記入用紙に印刷されているため、コード増減時は別紙に印刷、備考欄に記入等で対応しなければならない。



システム概要

代表取締役 橋本 昭一
 青森県八戸市卸センター1-12-10
 TEL: 0178-28-0546

企業概要: 協八戸総合卸センター組合員の情報処理共同化を目的として、1982年(昭和57年)に設立。「卸・小売間」の受発注システムはもとより、物流・情報システムに係わる開発を行っている。近年は、クラウド技術を活用したシステム開発に注力している。

実施内容

○クラウド環境の活用

クラウド環境とICカードの利用することで、インターネット接続環境下であれば、作業状況及び効率をリアルタイムで確認でき、また、データ収集端末の故障の際は、Webアプリケーションから作業実績の入力・訂正も可能。

○データ収集端末の作業項目表示

設置場所及び設置方向によって一画面に表示する作業項目数を①縦3×横3、②縦5×横3、③縦2×横2、で選択可能とし、また、設置場所により、表示する作業項目を端末ごとに設定。

○運用テスト

実際の運用を想定し、作業員100名にICカード(シールタイプ)を配布、データ収集用端末を各作業場に設置してテスト運用を実施した。

| No. | 詳細 | 社員コード | 社員名 | 入分種名 | 中分種名 | 作業区分名 | 作業開始 | 状況 |
|-----|----|-------|-----|--------------|------|-------|-------|--------|
| 1 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 09:26 | 作業中(1) |
| 2 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 09:53 | 作業中(1) |
| 3 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 09:54 | 作業中(1) |
| 4 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 13:58 | 作業中(1) |
| 5 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 09:55 | 作業中(1) |
| 6 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 12:45 | 作業中(1) |
| 7 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 08:59 | 作業中(1) |
| 8 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 18:46 | 作業中(1) |
| 9 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 18:47 | 作業中(1) |
| 10 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 20:09 | 作業中(1) |
| 11 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 16:57 | 作業中(1) |
| 12 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 19:08 | 作業中(1) |
| 13 | 詳細 | | | トラック(非)卸(第2) | トラック | 台車取り | 08:30 | 作業中(1) |
| 14 | 詳細 | | | その他 | その他 | 雑務 | 13:34 | 終了(1) |
| 15 | 詳細 | | | その他 | その他 | 雑務 | | 終了(1) |

作業状況一覧

本事業での成果

運用テストにより、以下の成果を確認した。

○データ入力時間の短縮

ICカードを採用し、また、Webで基本的なチェック機能を付与したことにより、約100人分のデータ入力時間が3時間から1時間に短縮。

○作業区分の拡充

作業区分の登録が、最大99区分から9,999区分と大幅に拡充された。

○作業効率の把握

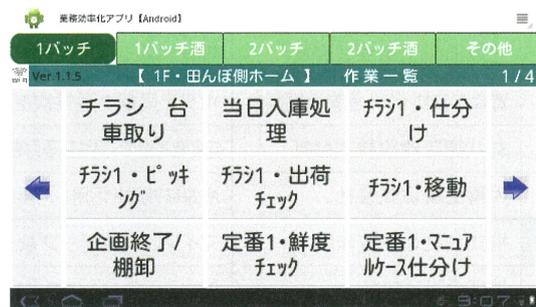
作業員ごとの作業効率をリアルタイムで確認可能。

○利便性向上

設置場所付近で行われる主な作業を設定しておくことで、作業者の入力時間を短縮できる。

今後の展望

出退勤システムとICカード共用化等の追加開発を行い、また、食品・日用品等の消費財を取り扱う東北6県の卸業者を対象に、弊社ホームページやダイレクトメール等による販路拡大を図り、事業完了後5年目で売上5,160千円を目指す。



端末の作業項目表示